

# 「サウル王の最後」

2026.5.13

聖書に学ぶ 41

I サムエル記 31:1～13

I サムエル記の最終章です。この章にサウル王の最後が書かれています。

サウルは神を信じていました。彼は無神論者でも、偶像崇拝者でもありませんでした。しかし彼の晩年は悲惨です。彼は悔改める事をせず死んでいきました。私たちはこの歴史書にあるサウルの心の有り様に、警告として神のメッセージが込められていることに気づかされます。

## 今日の学びの要点

サウル王は、イスラエルの王とされ、王国を与えられ、その権威、特権を自分の見栄、利益、人々の好感を得るなど、肉の思いを満足させるために用いてしまいました。私たちはイエス・キリストによって、御霊によって生きる者となることができます。

## I、何が主から離れさせるのか

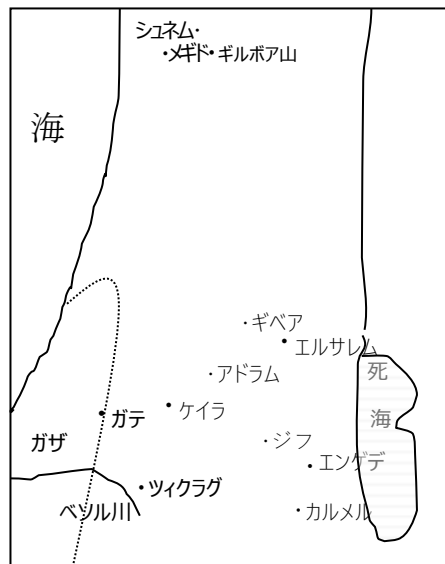
1、ペリシテ軍とイスラエル軍との戦いが  
始まろうとしていました。

①サウル王はペリシテの大軍を見て恐れ、主に伺  
いました。どうでしたか。(Iサムエル記 28:5～6)

②サウル王は霊媒をする女をだまし、サムエルを呼  
び出させました。悪霊さえ用いられる主は、サム  
エルに何と言わせましたか。

・主はサウルから離れ去り、敵になられた。(Iサムエル記 28: 16)

・原因は：アマレクを罰しなかった。(Iサムエル記 28: 18)



2、この時でも、主に従わなかったことを悔い改めたなら、どうだったでしょうか。

(Iサムエル記 28: 20)

## Ⅱ、戦場でのサウル王の最後

1、サウルのイスラエル軍はペリシテ人に追われ、敗走しました。

どこに原因があり、その結果はどうなったのでしょうか。(Iサムエル記 31:1~6)

①サウルによってイスラエルに、神の祝福がないこと

②サウルの子どもたちも戦死しました。その他大勢の者が、彼の肉の罪の巻き添いになった。(Iサムエル記 31:5~6)

2、サウル王は主なる神を信じてはいました。しかし晩年は失敗でした。

彼の抱えていた問題は何かだったのでしょうか。

①サウルはどうして主に従わなかったのか。従えなかったのでしょうか。

・ Iサムエル記 13:8~14——どうして待てなかったのか？

サムエルが来るのが遅く、戦いに行く前に、勝手に自分で全焼のささげ物を献げた。

・ Iサムエル記 15:9、19——どうして従わなかったのか？

アマレク人との戦いで勝利した後、「聖絶せよ」と主が命じられた事に従わなかった。

②ローマ 8 : 5~8 を読みましょう。

原因は…肉の思い

3、主イエス・キリストの十字架と復活による新約の私たちには、どのような特権が与えられているのでしょうか。ローマ 8 : 2、9~11